

請願	第20号		
受付	平成29年	8月24日	
付託	平成29年	9月1日	

子どもの医療費窓口負担をなくすことを求めます

紹介議員 池田 慈・加増充子

・請願趣旨

子どもの医療費助成の拡充は、「子どもの貧困」が広がる中、緊急な課題になっています。子どもが病気になった時、お金の心配をせずに、安心して医療機関に受診できるということは、子育て世代の願いであり、県や市の少子化対策としても重要であると考えます。

取手市は、中学生までの医療費の自己負担を、外来・入院共に助成し、県の制度に上乘せして、市独自に所得制限をなくすなど、努力をされています。しかし、窓口負担（1回600円、月2回まで、入院1日300円、10日を限度として1ヶ月3000円）が課せられ、子育て世代などから窓口負担をなくしてほしいという要望も多く出されています。

全国知事会、全国市長会をはじめ、医師会、婦人団体など多くの市民の長年の運動が実り、政府は2018年度から、就学前までの医療費補助をしていた自治体へのペナルティーをやめるという決断をしました。それにより、県や市の負担も軽減され、更に制度を拡充できる条件も出てきたと思います。

取手は、子育てしやすい、子どもを大事にする市であってほしいと願っています。子どもの医療費窓口負担をなくして、お金がかからずに安心して受診できるようにしていただくことを心から希望します。

以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。

・請願事項

1. 市として子どもの医療費窓口負担をなくすこと
2. 子どもの医療費窓口負担をなくすよう、県に働きかけること

平成29年8月24日

請願者代表

住所 取手市東6-55-2

氏名 新日本婦人の会取手支部

支部長 山口ひろ子 ほか3,101人

取手市議会議長 佐藤 清 殿